

会場	番号	評価	講評など
----	----	----	------

審査員

A会場 秋本みゆき (大阪市立南)
 瓦林 朗 (東海大学付属仰星)
 酒井 学 (府立堺西)
 安田 知博 (放送部インストラクター)

B会場 田名瀬さゆり (府立渋谷)
 久下 哲也 (府立布施)
 谷 典子 (帝塚山学院)
 平野 賢一 (近畿大学附属)

各会場4人の審査員が100点満点で採点し、合計400点で評価しました。

各会場上位5人をA評価とし、優秀賞としました。

A評価まで1～30点の人をB評価、31点～の人をC評価としています。

審査員からいただいたコメントをまとめ、「講評など」として掲載しています。

■ 全体に関するコメント

- まず、参加規定をしっかりと確認してください。原稿提出時の様式、番号を言ってから読み終えるまでの時間の規定などが守られていない人がいます。
- 学年の大会もNHK杯コンテストに準じて行われています。Nコンの審査基準を確認して臨むとよいでしょう。
- 原稿内容は「自校ニュース」になっていますか。外向きや、お知らせやトークになっている人もいます。
- 人権に配慮した原稿を心がけましょう。例えば、「障がいを持った」とは言わず、「障がいのある」という表現にします。
- アナウンスメント、自然なイントネーション。まだ共通語が練習不足でも、少なくともアクセント辞典でアクセントを確認してください。
- 誰に向かってしゃべっているのか？ リスナーを意識してください。

※ 各会場の審査番号順に掲載しています。

個人情報保護のため、学校名・名前の掲載は控えさせていただきます。

2015年度 第2回放送技術講座 1年生アナウンス大会 講評一覧

2015/11/08 実施

会場	番号	評価	講評など
A 会 場	1	A	やや情報の羅列になったところもあるが、よく取材できている。「アサヒカセイ」と聞いて、場内がハットした(ある種、タイムリー)。声はとても聞き取りやすい。声量にムラあり。マイクから遠い。発音の雑な箇所あり。文末が強く、本体が弱い。
	2	A	取材の成果がよく表れているが、核となる情報がない。最後の文はニューには馴染まない。表現に改良を。聞き取りやすいが、ややマイクから遠い。イントネーションに間違い。文末下がっておらず、語尾の伸びに注意。
	3		欠席。
	4	B	メインは、3年生のダンスにあるのか、野外ステージそのものにあるのか、ステージ使用の手続きの紹介にあるのか？抑揚はある。文末は最低音まで下げるべき。区切りが多い。もう少し話すように読むとよい。一部無声化ができていない。
	5	C	インタビューの報告ではなく、取材で目の当たりにした事実を原稿にするべき。質問の内容まで盛り込む必要なし。しっかりマイクに声を乗せよう。元気よく、声を張って。覇気がない。文頭を高く読む意識を。意味のかたまりで読むこと。
	6	B	テーマは、キリスト教そのものについてなのか、キリスト教を学校で学ぶ意義についてなのか？校内で求められている情報はどちら？読みは基礎を大切に。最低音まで下がるのは文末のみ。前半で詰まってしまった後から読みが速くなった。
	7	C	原稿を再考を。大会の正式名は必要？「本当におめでとう」は聞き手が思うこと。意見表明ではなくニュースを伝えること。マイクにしっかり声を乗せよう。なめらかな読みを意識し、切りすぎないこと。ただ読んでいるだけになってしまった。
	8	B	冒頭が唐突。説明文っぽい。書いたものが四天王寺に奉納されたことがすごいのでは？普通の高校生が聞いてよかったと思える内容に。読みのことも想定して構成に工夫を。最低音に下がるのは文末のみ。「良かった」が下がったのに、「あがっています」が高いのはおかしい。
	9	B	学校生活に即して面白いが、表現は再考しよう。「男子生徒」「女子生徒」「起爆剤」などは、高校生同士の放送にはやや違和感あり。マイクに近すぎる。元々の声に威力があるのでマイクの使い方に注意。文末が高止まりで雑。強弱ではなく、高低アクセントで表現すべき。
	10	B	校内放送に向けた内容になっているか？校内の人に役立つ情報に絞るべき。意見や体験の感想文になっている。客観的に伝えるべき。イントネーション・アクセント注意。文末が「…まーす」となっていて、表現も含めて違和感がある。高止まりにも注意。
	11	B	11月の大会に4月の情報は少し新鮮さに欠けるのでは？今聞く価値のある情報を伝えよう。「多方面」などの書き言葉に頼らない。声をしっかりマイクに乗せよう。文頭も文末も弱い。アクセントにも間違いあり。「ディベート」が「リポート」に聞こえる。
	12	B	府大会のことは要らないのでは？単に「凄い人」の紹介ではなく、強くなるため何をしているか具体的に。三人称はニュースには使わない。少しマイクを拭いてしまった。文中で急に高さが変わっている。文末にかけて下げていくように。「ことです」が高止まり。
	13	B	ニュースとして自然な言い回しに。コメントの引用ではなく、地の文で説明できるのでは？話題の核はパン？食堂利用？「す」が消えるなど、文末の処理が雑。後半早口に。息継ぎの工夫が必要。ラストは暗い印象に。
	14	B	まあまあの出来だが、情報の順序をもっと検討すべき。取材で調べて確かめた事実を伝えるべきで、コメント引用に頼っている。息継ぎ・読みの高さなど練習が必要。うねりあり。「一人」が低くて「2分間」が高いのはおかしい。
	15	B	11月に工事が終わって2ヶ月以上経った話題は、今伝える価値のある情報？その後の使用状況など、さらに突っ込んだ取材を。覇気が足りなお。皆が聞きたいと思えるような伝え方を。読み間違いあり。アクセント注意。最低音まで下がるのは文末だけ。
	16	B	バトントワリングの一般的な知識の確認ではなく、部活動のことをもっと伝えよう。誰に伝えているのか分かりにくい言い回しになっていた。「せつりつ」聞き取りにくい。修飾語が低くて被修飾語が高いのはおかしい。文末にも雑なところあり。
	17	B	よく伝わる内容。さらなる改良を。「監督のもと」「大震災後」のような書き言葉は使わない。「チェロをしている」は不適切。伝聞は使わない。棒読みの印象。もう少し、高さなどに工夫し話すように読もう。人名はもっとゆっくり。文頭は高く。「ダ行」注意。
	18	A	校内放送にふさわしい内容で分かりやすい。「ごくみ」は「後藤久美子」の略称。情報量が多いか？最後の文は共感されにくいのでは？ハキハキ読んでいるが、マイクからやや遠い。文中うねりあり、文末急に下がり暗く聞こえる。「知って」の「し」は無声化。

2015年度 第2回放送技術講座 1年生アナウンス大会 講評一覧

2015/11/08 実施

会場	番号	評価	講評など
A 会 場	19	B	「部活」ではなく「部活動」、正しく表記。校内ニュースではなく、校外への説明に聞こえる。結局は何を伝えるためのニュース？結論は？ナンバーコールなし。マイクにしっかり声を乗せよう。美化部？理科部？滑舌注意。「楽しく」の「し」など、無声化を練習して。
	20	B	話題自体は面白いが、表現には工夫が必要。途中から何を伝えようとしているのかぼやける。特定の人物を持ち上げる放送は、皆に必要？文末「まあす」「でえす」と伸びている。区切りが多く、抑揚が強い。後半早口に。なめらかに読めるように練習を。
	21	B	話題の中心は何？「本校で開催しました」は学校が対外的に報告しているような言い方。「昨年」ではなく「去年」、人数は「名」ではなく「人」。カーナビのような不自然な抑揚、うねっている。テンポやポーズの取り方にも注意。文末が高止まりにならないように注意。
	22	B	コメントが長い。現場を見ていないことがばれる書き方。大会名が長くて邪魔。聞き手には文字情報(原稿)はないので伝わりにくい。テンポと主語・述語をはっきりさせるような読みに気を付けるだけでも内容がよく伝わるようになるはず。「目標」の「く」は無声化。
	23	C	自転車マナーのニュースなら、もっと丁寧な取材で原稿を深めて。生徒指導の先生と同じようなことを言うだけの放送は、誰も聞いてくれない。ナンバーコールから暗い。過度に深刻な読みにする必要はない。伝える間が長く抑揚も単調、テンポよく読もう。
	24	B	誰に伝えるニュースなのか再考を。校内放送ではなく校外への宣伝のような内容。最後の文は余計、楽しみにするかどうかは個人の自由。読みは上々で分かりやすくよめているが、細かいアクセントに注意。固有名詞や特別な用語は聞く側に伝わりにくいので注意。
	25	C	毎年の行事をわざわざ今ニュースにするのはなぜ？強引に見に行かせるのではなく情報を伝えるべき。説得はニュースの役目ではない。ナンバーコールのアクセント。「桃山学院」が「おもやま」に聞こえる。「れいはい」聞き取りにくい。もっと話すような読み方に。
	26	B	原稿間違いあり。内容自体は放送部の活動に即して良好。最後の情報が中途半端。本題に入るまでの時間を短くする工夫を。声良い。ややマイクから遠い。「聞きづらかった」の最初の「き」は無声化。「いうことで」を立て直さない。
	27	B	原稿をきちんと提出しよう。終了した文化祭について今伝える価値のある情報は？参加した人たちに伝える放送とするなら内容を見直して。文中語気が急に強くなる。高低差を使って強調する方が聞きやすい。「文化祭」のアクセントが違う。「出演」は「しつえん」に聞こえる。
	28	C	「僕」の話は校内放送には適さない。ニュースは、個人の思いを述べる場ではない。題材も含めて、原稿の再構築を。ただ「読んでる」状態。命令されて仕方なく読んでるようにしか聞こえない。ぶつぶつ切らずに、意味のかたまりを一息で伝えて。
	29	B	題材自体は悪くないが、原稿は読むことを考えて組み立て直そう。コメントの引用が多すぎる。事実をしっかり伝えて。ナンバーコールもしっかり発声を。文末はしっかり落とす(最低音まで下がるのは文末だけ)。読み間違い箇所多い。落ち着いて。
	30	B	11月の大会にお盆の話をするのなら今に通ずる付加情報が必要。仏教行事について伝えることは、放送部の役目？生徒たちから期待？丁寧に読んでいる。難しいお坊さんの名前もスムーズ。ただ、発声や高低差が小さい。語尾伸びにもやや注意が必要。
	31	B	原稿に見直しが必要。誰も聞いたことのない行事の名前を、いきなり言うのは不適當。「すばらしい」「楽しみ」と感じるのは聞き手の自由。最低音まで下がるのは文末だけ。「ミュージカル部」が低くて「オーケストラ部」が高いのはおかしい
	32	B	身近な話題で好ましいが、2人の人物を1つのニュースで紹介するのは最適かどうか。どちらか1人に注目する方が深まるはず。丁寧に読んでいるが、もう少し声をマイクに乗せよう。「1年生」など数字に関わる読みのアクセントに違和感。
	33	A	ササキ先生がなぜそのようなことをなさっているのか、もう少し掘り下げて取材してみると、より面白くなるはず。書き言葉は使わない。丁寧に読んでいるが、無理にゆっくりしゃべっているようにも聞こえる。子音のshjなどが英語っぽくならないように注意。引用文が長い。
	34		欠席。
	35	A	「毎年」と言わない方がニュースらしくなる。「今」が分かる情報を増やすべき。今どんな様子なのかを具体的に。もっと取材して。ナンバーコールのアクセントにも気を配ろう。文頭をもう少し高から読み始める。「工段」が「イ段」に聞こえる。細かいところまで丁寧に。
	36	B	ユニークな先生を話題にしたのなら、もっとその方の魅力が伝わるような原稿にしよう。面白い題材だけに取材が浅く感じられて残念。語尾の伸びと上がり方に注意。読みの高さで「点数」が低くて「伸びる」が高いのは不自然。「書かれて」の最初の「か」が消えていた。

2015年度 第2回放送技術講座 1年生アナウンス大会 講評一覧

2015/11/08 実施

会場	番号	評価	講評など
B 会 場	1	C	声小さい。発声しっかり。言葉をはっきりと。切りすぎ。
	2	B	音が甘い。声出し・アクセント、イントネーション。うねり、文の終わりが落ち切っていないところあり。
	3	C	アクセント。声弱い。アンケートを取ったのはよい。意味のまとまりは切らない。相手に話すように。滑舌しっかり。マイクの使い方に注意。
	4	B	【規定時間を大幅に超過】 切りすぎ。声は良い。アクセント。伝えよう。
	5		欠席。
	6	A	【規定時間少し超過】 取材・構成よく、News性よい。リズムが一定、イントネーション、アクセント。セリフかどうかわかりにくい。声が上手く出していない。
	7	B	発声を滑らかに。はっきりと、話すように。声をもっと出す。取材良く出来ている。
	8	A	取材良く出来ている。伝えたいところをもっと立てる。変なポーズあり、発音が一定していない。
	9	B	アクセント・イントネーション。文の終わり落ち切っていない。ニュースとして構成を工夫するとよくなる。マイクの使い方
	10	B	【規定時間に大幅不足】 声は良い。サ行。滑舌。言い始めの音を大切に。速い、息が抜けるところあり。セリフかどうかやや不明。
	11	C	名前から聞きとれない。滑舌しっかり、音を丁寧に。取材はしっかりしている。盛り込む情報を工夫するともっと良くなる。速い、あわてずに。
	12	B	内容面白い。イントネーションが単調、読んでいる感。変なポーズ。生徒が生徒に「いただける」はおかしい。はっきりと。
	13	B	音をクリアに。取材良く出来ている、言いたいことを立てて。
	14	B	【規定時間少し超過】 声の出し方。意味のまとまりで一息に話すべき。個人的感想はNewsとしてよいのか。
	15	A	明るく芯のある声。取材よい。マイクの使い方。急に調子が変わるのが不自然。
	16	B	声よい。イントネーション。変なポーズ。やや平板。伝えたいところはもっと立てて。自校向けというより学校行事紹介になっている。
	17	B	取材良い。声よい。言葉がすべるところあり。伝えたいところもって立てて。
	18	B	出だしがはねたような読み方、自然なアナウンスを。どこまでセリフかわかりにくかった、間の工夫を。アクセント。

2015年度 第2回放送技術講座 1年生アナウンス大会 講評一覧

2015/11/08 実施

会場	番号	評価	講評など
B 会 場	19	B	もっと声を出して。取材良い。文の終わりをしっかり落として。名前を伝えるのが普通です。
	20	B	冒頭部分時間をもったいない。感情を入れすぎ。もう少し冷静にアナウンス的に。
	21	B	落ち着いた発声。音を丁寧に。校内向けなので学校名は不要です。
	22		欠席。
	23	B	最初の質問とコメント、当たり前すぎる。内容わかるが構成工夫するとよい。滑舌練習必要。
	24	C	アクセント。抑揚つけすぎ演技調、もっと自然なイントネーションで。どこにポイントがあるのか考えて話す。
	25	B	校内向けの情報としては弱い。やや平板、何を伝えたいかわかりにくい。発声。
	26	B	内容わかりやすい。全体的に平板。情報もっと付け足すことができるのでは？
	27	B	明るい発声でききやすい。学校紹介的に聞こえるので自校ニュース向けの形に。情報をもっと強くして。終わりが急な感じ。
	28	A	アクセント。声は良い。終わりが少し急な感じ。
	29	B	発声よい。読んでいる感。意味の繋がりもっと考えるとよい。
	30	B	ポーズ工夫するともっとよい。マイクの使い方。
	31	B	音をもっとクリアに。イントネーションを自然に話しかけるように。アクセント。
	32	B	イントネーションが単調。生徒が生徒に「いただける」はおかしい。
	33	C	声は良い。情報を伝えることにもっと絞りましょう。全体にセリフのようなイントネーションです。
	34	B	サ行他発音。自校ニュースに校名は不要。内容は面白い。文の後半に力を入れすぎ。もっと自然に上から下へ。マイクの使い方・近いから音がきつい。
35	A	アクセント。抑揚がきつい。文の終わりまで強くなっている。音がききとれないところあり。長い文工夫して。	
36	B	声はよい。構成工夫するともっとよくなる。全体に単調、読み込みが必要。	